

対談！明石と淡路の未来



明石市議会議員 中西レオ(38歳・3期)

洲本市議会議員 木戸隆一郎(31歳・2期)

今後、若手議員のネットワークを活かして対談や研修を開催し、市民の皆様と一緒に学び、考える取り組みを企画して参ります。

「同じ海峡を挟む都市として、これからの連携を考えませんか」と洲本市の木戸議員に呼び掛け、5月27日に対談を行いました。若手議員の目線で明石と淡路島の連携について対談をしました。
下記の内容に加え、待機児童、学校の統廃合、議会改革、生活保護、公共交通など、市民を交えて議論を交わしました。

中西 札皇

明石市はこれまで海峡交流都市を名乗ってきました。淡路島との窓口を担うのは明石市以外に考えられません。この度は洲本市議の木戸隆一郎さんにお越しいただき、明石と淡路島の未来を意見交換します。

ふるさと納税が好調らしいですね。明石市は平成29年538万円でした。完全に出遅れてます。

参考にさせていただきます。

明石と淡路島で連携できることを考えたいのですが、明石海峡を日本遺産にするとかどうでしょう。

下関～門司の関門海峡ではライトアップや花火大会と一緒に開催し、対岸から観てもらおうようにしていますね。他にも市職員の相互派遣、互いの歴史や文化を知る講義やフィールドワークをしています。明石～淡路島でもやりたいですね。

私と木戸さんが市長になったらものすごく連携が進むでしょうね！

木戸隆一郎さん

木戸隆一郎です。31歳で2期目が始まったところです。実は中西さんとは10年前に三田であった勉強会で一緒したことがあります、私は当時大学生で、中西さんは議員1期目でした。

好調ですよ、昨年は9億2500万円です。淡路市、南あわじ市もみんな好調です。

実は既に「淡路島」で日本遺産に認定されています。淡路島3市で申請しました。訪日外国人向けの看板表記といったもので足並みを揃えています。明石海峡で一緒に取り組むネタとしては、城(跡)巡りやスタンプラリーをしたいですね。

やりたいですね。まず、その姿勢をもって歩調を合わせましょう。

そうですね、頑張りましょう！

コメント

早いもので、11年議員をしております。

日本遺産といっても67件の認定があり、認定がゴールではありません。

スマートフォンでスタンプラリーなど、思いついたときに参加できる仕組みが良いですね。

お互いに楽しめて絆も生まれる、海峡コラボは楽しみです。

たくさんの意見交換をしています！

市民まつりは平成13年の事故後、平成16年に再開され、平成23年に再び中断されました。「100周年の年に開催」は難しいかもしれませんが、「100周年から議論が始まる」でも価値がありますね。

100周年に関連して多くの方から「市民まつり」「花火大会」再開の提案をいただいています。
私の考えは、市民まつりは賛成、花火大会は反対です。とはいえ、現在のスタンスを明確にしているだけで、異なる意見の方とも度々意見交換をしています。
真剣に明石の将来を考えて意見を交わすことはとても重要。結果として自分の主張と違うことになっても、その過程は大きな成果です。どんどん意見交換しましょう。

B-1でいいの？ 市制100周年

平成31年11月1日に明石市は市制100周年を迎えます。明石城の築城400周年も同じ年であり、そちらは兵庫県が基本構想をつくり、「船上城と高山右近をテーマにした市民講座」や、「明石城石垣周辺の樹木の伐採による魅力アップ」、「天守閣が建造されなかった理由の発信」といったソフト・ハード両面で動き出しています。7月末まで県民提案事業の募集もあり、県民のアイデアや思いを活かそうというスタンスも感じます。
明石市で決まっていることはB-1グラプリの全国大会。これには市の持ち出しが約1億円かかると言われています。他にはドリム・ベースボールという答弁がありました。他所から借りてくる「イベント」よりも、明石市制100周年にふさわしい「事業」をしたいですね。